



谷本寛文氏
こども教育学部
こども教育学科 教授
学科長 学長特別補佐
京都大学 特任教授

富永瑠美さん
こども教育学科 学校教育コース3回生
(福岡県・筑紫女学園高等学校出身)

石垣理紗さん
石川県七尾市立東湊小学校教諭
(石川県立七尾高等学校出身)
こども教育学科 2021年度卒業

教員養成に力を入れている大学特集

京都光華女子大学が選ばれる理由

教員になるために成長できる環境がここにはある

京都・洛西の地にある京都光華女子大学。こども教育学部こども教育学科では、毎年多くの学生が教員採用試験に合格し、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士になる夢を叶えている。教員養成のためにどんな環境を用意し、採用試験に向けて学生たちをどうサポートしているのか、こども教育学科長である谷本教授に話をうかがった。

まとめ／宮本猛 写真／池田薫

京都光華女子大学ならではの学びの環境

— 京都光華女子大学の特徴、教員養成における強みは何でしょうか。

谷本：こども教育学部こども教育学科には、小学校教諭を目指す「学校教育コース」と幼稚園教諭、保育士を目指す「幼児教育コース」の2つのコースがあります。強みとしては、大きく3つあると思っています。1つ目は、4年間で小学校教諭1種免許状、そして幼稚園教諭1種免許状、さらに保育士資格の3つの免許を同時に取得できるということです。2つ目は、光華女

子学園の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・短期大学部・大学院が隣接している点です。大学と同じ敷地内に学園の小学校と幼稚園があるので、日常的に子どもたちと触れ合うことができ、実践的な学びを深めることができます。3つ目は、京都の大学の中でも特に恵まれた立地の良さです。最寄り駅である阪急「西京極」駅から徒歩ですぐに通学でき、また、ターミナル駅である京都駅から近く、河原町や嵐山などの観光地にもすぐ行けるなど、京都の文化に触れる機会がたくさんあります。その立地の良さも、京都光華女子大学の強みとして挙げるができると思います。

「教員になりたい!」という学生の夢を叶えるため 全力で応援、サポート!

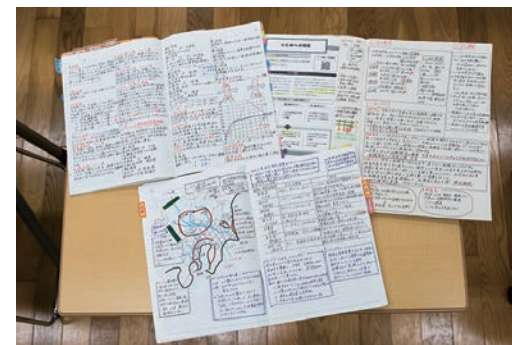
現役学生による高い教員採用試験合格率

— 今年の教員採用試験の合格状況を教えてください。
谷本：毎年多くの学生が、小学校の教員採用試験に現役合格しています。現段階では、最終の合格発表が出ていない自治体もありますので、第一次試験の結果を紹介することになりますが、85%の学生が合格しています。1つの自治体だけではなく、例えば滋賀県と神戸市、愛知県と横浜市、愛媛県と横浜市を合格…という具合に、複数の自治体の採用試験に合格している学生もいます。どの学生も「小学校の先生になりたい」という強い気持ちを持って努力を重ねています。4年間で実践的な学びを積み上げながら、教育に対する熱い想いを持って一生懸命頑張っている学生の姿を見るのは、何より嬉しいことです。

夢の実現に向けたきめ細かいサポート

— 採用試験に向けた取り組みとして、こういったことをされていますか？

谷本：キャリア教育の一環として、1回生のころから自主研究会を開いています。学生が教員採用試験に向けてさまざまな体験も含め学びをスタートさせる中で、



学生が作成したオリジナルの学習ノート。こうした学習の積み重ねと地道な努力が、教員採用試験合格につながっている



こども教育学部 学科長 谷本寛文氏

情熱と愛情をもって、学生を指導する谷本教授
京都光華女子大学の魅力について存分に語っていただいた

「4年後にどういう自分になっているか」を早い段階からイメージしてもらいながら、夢の実現に向けて主体的に努力していくための環境づくりを行っています。また、教職・保育職支援センターと連携し、教員が学生一人ひとりの状態を細かく把握して、「何が必要なのか」「何を求めているのか」を把握した上で適切なアドバイスを行っています。例えば、筆記試験に関する支援を行ったり、小学校の教室を模した教職実習室という施設で、模擬授業の指導を個別に繰り返し行ったりしています。さらに面接指導では、自分の熱い想いと夢を具体的に説得力を持って伝えるために、相手を意識した伝え方を学生とディスカッションをしながら向上させています。また、幼稚園教諭、保育士を目指す「幼児教育コース」では、面接指導や筆記試験の指導を主体的に申し出てきた学生については公立保育職100%合格という結果が今年度は出ています。学生も頑張る、その学生の熱い想いに教員も応える…という循環がうまくできているのではないかと思います。学生を対象とした大学満足度アンケートでも、4年間の学びや教員採用試験に向けた支援に対して、非常に高い満足度の数値が表れています。学科長という私の立場から見るときに、魅力のある学科だと感じています。

教員になる夢を叶えるなら、京都光華女子大学

学生・卒業生インタビュー

聞き手 夢に導く人 谷本寛文氏（教員）

京都光華女子大学で、どういった能力を身に付け、それらをどう生かし、どんな教員を目指すのか。卒業生と学生の2人に話を聞きました。



夢を叶える人 富永瑠美さん（学生）



福岡県の高校から進学して現在3回生の富永さん
教員になる夢を叶えるため、来年の教員採用試験合格を目指す

子どもの自己肯定感を 高めてあげられる 「愛情100%」の先生を目指す！

んどい」と感じたことがなくて、ずっと楽しいと思っていました。大変なこともありましたが、「子どもがいるから頑張れる」という楽しかった教育実習の思い出があるので、それをモチベーションにして頑張っています。

谷本：将来は地元の福岡で先生をしたいと思っていますか？
富永：そうですね。福岡は自分にとって居心地がいいところで、地元に着がえがあります。生まれ育った福岡の子どもたちのために、京都光華で実践的な力と教育理論をしっかり身に付けたいと思っています。

谷本：京都光華女子大学を目指す人に、メッセージをお願いします。

富永：京都光華女子大学は、きめ細かく学生を支援して下さるので、安心して大学生活を送ることができます。また、京都ならではの環境を生かした様々な経験ができるのも魅力です。すぐ近くに光華小学校があるので、子どもたちとたくさん触れ合えますし、子どもたちの可能性や素晴らしさを肌で感じられます。教員になるために成長できる環境がここにはあるので、ぜひ京都光華女子大学で教員を目指してほしいと思います。



教員と学生の距離の近さが、京都光華女子大学の魅力であり強み

子どもから学ぶことが多く 何よりたくさん 元気をもらえる！

谷本：京都光華女子大学で学んで、良かったことは？

石垣：手厚い指導を受けられたことです。教員採用試験のときは、何回も個人面接や模擬授業の指導をしていただいて、それが、合格につながったと思っています。

谷本：教育実習での印象的な思い出は？

石垣：教育実習は本当に楽しくて、初めて子どもたちの前で授業をしたときの反応や、「わかった！」という声がすごく嬉しかったです。また、指導教官の先生から、声掛けの仕方などを学んだことはとても勉強になりました。最後にお別れをするときにみんなが号泣して、「絶対戻ってきてね！待ってるよ！いつか担任して！」と言ってくれたことがすごく嬉しくて、「絶対石川県で先生になる！」とそのとき誓いました。

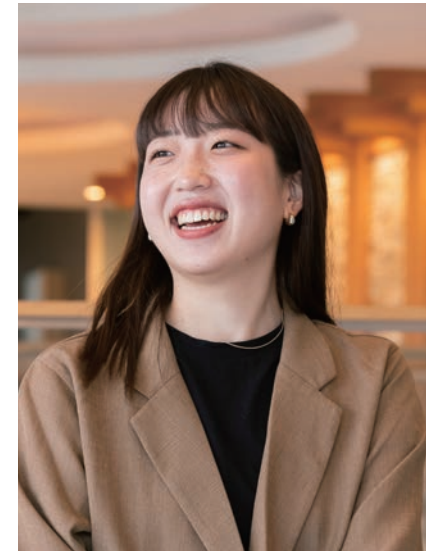
谷本：石垣さんが目指している教師像は？

石垣：憧れていた先生がいて、正しいことは認めてたくさん褒めて自信を持たせてくれるけど、間違っていることはちゃんと「間違っている」と伝えて、正しい道へ導いてくださったんです。私もたくさん褒めて、でもいけないことはしっかり子どもに考え、判断させ、自信と自己肯定感を高めて自分の道や夢へ自信をもつ



谷本先生の似顔絵と思い出の写真を手に、谷本先生の研究室で

夢を叶えた人 石垣理沙さん（卒業生）



地元石川県の小学校で2年生を担当する石垣さん
京都光華での学びを生かし、日々成長したいと語ってくれた

て歩んでいける、そんな子どもを育てたいなと思っています。

谷本：大学生活で心に残っていることは？

石垣：谷本先生からいただいたメッセージカードに書かれていた「志を高く 夢を持って あきらめない」という言葉が印象に残っています。大学生活で何回もくじけそうになったことがあるんですけど、その時は実習中の子どもたちの顔を思い出しながら、そのメッセージカードを見て元気をもらいました。

谷本：教員を目指す人に、メッセージをお願いします。

石垣：教員生活では、子どもから学ぶことが多くて、それが自分を高めることにもつながるし、何よりも子どもたちからたくさん元気をもらえます。また、自分が教材研究をして頑張ったことが子どもの成長につながっていくのを見ると大きなやりがいを感じます。つらいことがあっても、学校へ行けば子どもたちの笑顔が見られるので、それだけで全部忘れてしまいます。大変なこともあるけど、それを上回る嬉しさとかやりがい、感動をもらえるのが、教員の醍醐味だと思います。